



BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 02.03.12
(2012年2月6日発行)

EUR/USD を決定する次の要因

予想を大幅に上回る米雇用統計の発表を受け、為替市場も株式市場も活況を呈しつつ越週した。金曜日にはすべての主要通貨が米ドルに対して上昇したが、唯一の例外は、1.20 EUR/CHF を死守するとのジョーダン SNB 副総裁の発言を受けて下落した、スイスフランであった。今週は、英ポンド、日本円、カナダドル、オーストラリアドル、ニュージーランドドルなど、多くの通貨が対米ドルで数カ月来の高値に上昇し、過去1カ月の高値すら付けなかったのは、EUR/USD のみとなった。EUR/USD は取引時間中こそ極めて激しい変動を繰り返したものの、週を通して見れば、その値幅は僅か2セントだった。ユーロが他のリスク資産ほど上昇しなかった最大の原因は、結局のところ、欧州ソブリン危機の先が見えないことにある。もちろん来週にもギリシャ PSI 交渉が妥結する可能性はあるが、市場は既に何度も期待を裏切られてきた。これまでと異なる唯一の点は、今週末に IIF のダラーラ専務理事が、ギリシャ債権者委員会共同議長である BNP パリバのジャン・ルミエール氏と共に、アテネに入ることだ。この段階でのお偉方の登場は、困難な問題の裁断が必要とされるに至ったか、或いは、既に実質上の合意がなされたかの何れかであろう。もし後者であれば、来週中にも合意が発表され、EUR/USD はいよいよ上抜けすることになる。

最新の CFTC (商品先物取引委員会) レポートによれば、過去一週間にユーロのショートポジションは縮小した。ギリシャ PSI 交渉の進展に加え、来週開催予定の ECB 金融政策委員会も、ユーロの今後を占う上で重要である。もし ECB が LTRO (長期資金供給オペ) の増額を決定すれば、同行バランスシートの拡大予測がユーロの魅力を減じ、EUR/USD は大幅に下落するだろう。ただし、最近発表された経済指標と金融市場の動静からして、現段階で ECB が極端な行動に出る必要性は見当たらない。一時は 16.5% を超えていたポルトガル 10 年物国債の利回りは、13% まで低下した。過去一カ月で世界各国の株価は上昇し、EUR/USD は安値圏から大きく反発した。12 月には小売売上高こそ減少したものの、消費者、企業、投資家の信頼感指数は上昇した。こうしたセンチメントの改善が続く限り、ECB はあえて流動性を追加することなく、ギリシャ問題の展開に対する市場の反応をじっくり観察すれば良い。

利上げ期待が高まるのに、さしたる時間はかからない。今日はその典型的な例であった。今朝雇用統計が発表されるまで、多くの投資家が今年第1または第2四半期中にも、FRB が追加資産購入を実施するものと考えていた。先週の FOMC 後はバーナンキ FRB 議長も、「銃は既に充填された」と立場を明確にしていた。しかし今朝非農業部門就業者数 (NFP) が発表されると、1月の雇用回復の力強さを目の当たりにした投資家は、2014 年度中の利上げを織り込み始めた。ただし平均的な米国民にとって、雇用の確保は依然容易ではなく、米国がリセッションにあると感じる人も少なくはない。こうした人々の心理が好転するまで、FED は金融政策を引き締める訳にはいかない。それにしても今日の雇用統計を見て安堵のため息をついたのは、FRB や日銀、さらにはオバマ大統領ばかりではないだろう。NFP は 243 千人増加し、失業率は 5 カ月連続低下して 8.3% になったが、これはほぼ 3 年来の低水準である。今日の発表で最大の恩恵を受けるのは日本であり、財務相はこれを大いに歓迎するだろう。仮に NFP が極端に悪い数値であったなら、USD/JPY は 76 円を割り込み、円売り介入の実施を迫られたことは想像に難くない。しかしその必要はなくなった。失業率の低下に伴い、オバマ大統領再選の可能性も高まった。仮に 11 月までに失業率が 8% を割れば、オバマ大統領の楽勝が予想されないと限らない。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適用している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的のみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録 (関東財務局長 (金商) 第 268 号) および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp © 2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複製・複製・転載を禁ず。GD08J.006.011212